

大豆情報(大麦収穫→大豆播種までの圃場管理)

大麦収穫後、大豆播種までに雑草が蔓延ると初期生育に支障が出ます！
既存雑草が多い場合は、播種前・耕起前に使用可能な茎葉除草剤を散布する事をおススメします！

耕起前・播種前処理剤(10a当たり)

使用時期	薬剤名	薬液量	希釈水量
播種前(雑草生育期)	バスタ液剤	300~500ml	100~150ℓ
耕起前または出芽前まで(雑草生育期)	ラウンドアップマックスロード	200~500ml	50~100ℓ

ブームスプレーヤー所有の方必見！！

ラウンドアップを10aに100ℓも散布するのはたいへん！
何回給水に行かないといけないの！効率悪すぎ！



そんなあなたに！

ラウンドアップ専用ノズルができました！



ラウンドアップだから ブームスプレーヤーの作業効率が向上！

・ブームスプレーヤーで除草作業する場合(例) *通常散布100ℓ/10aに対し、ULV5による少量散布5ℓ/10aとの比較

ラウンドアップ50ℓを
水量500ℓで10ha散布！

ラウンドアップマックスロード 50ℓ + 希釈水量 500ℓ = 散布面積 10ha

高濃度 少水量 専用ノズル

※希釈する水量を減らせますが、ラウンドアップの量を減らせる訳ではありません。
*作物名・適用場所により異なります。薬量200~1,000㎖/10a
**散布時の走行速度で水量は変わります。

ラウンドアップ ULV5



NEW!
ラウンドアップ専用ノズル
ラウンドアップULV5
ブームスプレーヤー用

希釈水量500ℓ (給水時間約10分/回で試算)	他剤による通常散布 (希釈水量100ℓ/10a)	ラウンドアップによるULV5 (希釈水量5ℓ/10a)
散布面積/希釈水量500ℓ	0.5ha	10ha
給水回数/10ha	20回	1回
給水時間/10ha	約3時間	約10分

散布水量は従来の約1/20*

*通常散布100ℓ/10aに対し、ULV5による少量散布5ℓ/10aとの比較

わずか5ℓの水量で10a散布できるので、散布水量を従来の約1/20に削減できます。

1回の給水で圧倒的に広い面積を散布できます。

だから、「時間・人員」の削減が可能です。

ご興味がある方はJA全農しが農機センター(78-1008)
までお問い合わせください！

動画
詳しくは動画で
わかりやすく▶



大豆情報(土づくり編)

水田転作での大豆作付は、連作の有無に関わらず、作付のたびに地力が消耗し、収量の減少や品質低下が問題となります。土壌中に有機物が多いと根粒菌の着生が増加し、収量・品質が向上しやすくなりますので、堆肥等の有機物を施用し、地力を向上させる事が重要です。

大豆の生育に適した土壌pHは、**6.0~6.5**です。石灰質の土壌改良資材を投入し、生育に最適な土壌環境にします。併せて、大豆の生育(莢の伸長、子実の肥大)に必要なリン酸資材の施用も行います。↓↓↓↓↓↓

資材名	施用量	備考
新ふりかけ堆肥エコ	60~100kg	濃縮堆肥成分。散布量は通常堆肥の約1/10!
セルカオイスターミネラル	100kg	けい酸資材と有機石灰(セルカ)配合!
粒状ハレー28号	100kg	苦土石灰と重焼リンを配合
粒状苦土石灰	100kg	土壌の酸度矯正に効果的

◆大豆播種について

適期播種で大豆収量増 ~慣行栽培で6月中旬頃から播種を!~

大麦は収穫が早いため、大豆播種準備に十分な時間が持てます。大豆は初期生育量の確保により収量増が見込めるため、遅れずに適期播種を実践してください。

慣行栽培は6月下旬まで、密植栽培は7月上旬以降を目安に播種できるよう圃場準備を行いましょ。

播種時期前半の播種は、播種下限量、播種時期後半の播種は播種上限量で播種しましょ。

	里のほほえみ	オオツル	ことゆたかA1号 ※密播栽培
播種適期	6月中下旬	6月下旬~	7月上旬
播種量	5~6kg/10a	5~6kg/10a	8kg/10a

◆大豆播種後除草剤について

雑草が多いと大豆の生育が阻害されたり、コンバイン収穫の際に汚損粒の割合が高くなるので注意が必要です。初期生育を確保するためにも播種日前後の天気をチェックし効果的な除草剤散布をしましょ。

播種直後処理剤(10a当たり)

薬剤名	使用時期	薬量	希釈水量
エコトップP細粒剤F	播種後出芽前(雑草発生前)	4~6kg	-
エコトップP乳剤	播種後出芽前(雑草発生前)	400~600ml	100l
クリアターン細粒剤F	播種直後(雑草発生前)	4~5kg	-
クリアターン乳剤	播種直後(雑草発生前)	650ml	100l

除草剤情報(中後期除草剤)

ノビエが残ったらク린チャー、ホタルイ・オモダカ等の広葉雑草が残ったらバサグラン、クサネム・イボクサにはノミニー液剤が効果的です！

注：プレミアム米・スタンダード米を生産されている方につきましては、ク린チャー剤以外の中後期除草剤の使用は、生産基準から外れますのでご相談ください。

区分	薬剤名	使用時期	1年生雑草			多年性雑草
			ノビエ	ノビエ葉期	広葉	
中期剤	ハイカット1キロ粒剤(注)	移植後15日～収穫60日前	○	3.5葉期	○	○
後期剤	ク린チャー1キロ粒剤	移植後7日～収穫30日前	○	4.0葉期	×	×
	バサグラン粒剤	移植後15日～55日 但し、収穫60日前まで	×	—	○	○
	ク린チャーバスME液剤	移植後15日～収穫50日前	○	5.0葉期	○	○

ク린チャーの散布時は3～5cmの水深を保って下さい。散布後3～4日は湛水状態を保ち、7日間は落水やかけ流しはしないでください。

バサグランは湛水状態で散布すると効果が薄れるので、落水して散布しましょう。

薬剤名	使用時期	使用量	対照雑草	生産基準米
ノミニー液剤	移植後30日～ 収穫60日前まで	50～100ml/10a	クサネム・イボクサ	×

オススメ除草剤紹介

☆レブラス 1キロ粒剤 ・ エアー粒剤(中期剤)

4葉期までのノビエ、草丈が10cm程度になったホタルイ、草丈30cmまでのオモダカ・クログワイに対して効果のある有効成分アルテアを増量したことで、根や塊茎(イモ)までしっかり枯らします。

湛水散布でエアー剤はドローンによる散布も可能！！

使用時期：移植後14日後からノビエ4葉期、但し収穫60日前まで



☆セカンドショットS ジャンボMX(中期剤)

移植後14日以降に使用できる中期用ジャンボ剤。稲が大きくなってきているにもかかわらず、薬剤が広がりやすく通常のジャンボ剤と同じように使用できるため、雑草に気づいた時にすぐ散布できます。3.5葉までのノビエや幅広い広葉雑草に対して効果があります。また、畦畔から侵入するイボクサやキシウウスズメノヒエに対して、進入抑制効果もあります。

使用時期：移植後14日後からノビエ4葉期、但し収穫60日前まで



◆中干しの時期です

現在の生育状況ですが、「コシヒカリ」や「みずかがみ」の早生品種の生育は、4月下旬から5月上旬の低温や強風により、平年と比べてやや遅れています。浅水管理を基本とし、還元障害が出ているところでは軽い田干しが必要です。

茎数の増加に注意し、「中干し」が遅れないようにしましょう！ 中干し開始の茎数と時期の目安

【茎数】	【時期】
栽植密度 (株/坪)	1株あたり 茎数
70	14～15本
60	17～18本
50	20～21本

移植時期	中干しの 目安時期
5月上旬	6月10日頃
5月中旬	移植後1カ月頃
5月下旬	移植後1カ月頃

写真:還元障害が出ている圃場
下葉が黄色、株基が黒い、株が細い



写真:中干しの程度(ひび割れと足跡)



◆いもち病に注意！

気温が低く雨がが多い時はいもち病が発生しやすくなります。 いもち病の出やすいほ場等では、箱施用剤を入れていてもいもち病の防除をするようにして下さい。また、ほ場内に置き苗があると、いもち病の発生原因となるので早急に処分して下さい。

※プレミアム米・スタンダード米を生産される方につきましては以下の剤を散布すると生産基準米から外れますのでご相談ください！

	農薬名	使用時期
予防剤	コラトップ1キロ粒剤12	葉いもち: 初発10日前～初発時 穂いもち: 出穂30日～5日前
	コラトップジャンボP	葉いもち: 初発20日前～初発時 穂いもち: 出穂30日～5日前
治療剤	ブラシン粉剤DL	収穫7日前まで



資材紹介【硫マグ25】

苦土(マグネシウム)は、作物が生きていくために必要なエネルギー生産の元である葉緑素の主成分です。マグネシウムが欠乏すると葉緑素の生成が低下し、光合成が衰えて炭水化物(エネルギー)の合成も減り、十分な生育が得られないなど、とても重要な役割を持っています。硫マグは、**イネの還元障害からの早期回復に効果があります。**

一度還元障害がみられる圃場に試してみてもはどうですか？

施用量: 20kg/10a



◆穂肥の適期施用について

環境こだわり栽培に
取組まれる方は化
成窒素施用量(4kg/
反)の上限にご注意
ください。

穂肥時期の判断は稲の幼穂長と、葉色を確認することが重要！
コシヒカリは、穂肥の施用が早すぎると下位節間が伸びて倒伏しやすくなります。
穂肥の多量施用や施用が遅れると玄米中のタンパク含量が多くなり、食味が悪くなります。
なお、有機質の肥料は化成肥料より3～5日程度早めに施用していただく必要があります。

表：出穂前日数と幼穂長

出穂前日数	幼穂長 (mm)	備考
28日	0.3	
25日	1.0	倒伏しにくい品種「あきたこまち」 「日本晴」などの穂肥時期
21日	2.0	
18日	5～10	倒伏しやすい品種「コシヒカリ」「滋賀 羽二重糯」などの穂肥1回目
12日	40～60	
4日	-	倒伏しやすい品種「コシヒカリ」「滋賀 羽二重糯」の穂肥2回目



幼穂2mm



幼穂10mm



土力UPチャレンジに取り組む最後のチャンスです！

米の収量品質向上対策には

中干し時期の **けい酸加里** 施用がオススメです！ **キーワードは 光合成能力**

「けい酸加里プレミア34」の効果

- 根張りが良くなり、根の活性を維持
…高温による乳白米の発生を抑制するなど異常気象に強くなる。
- 直立受光態勢が良くなり、光合成が盛んになる
- 稲体の表皮細胞を硬くする
…いもち病の抵抗性を高める、倒伏しにくくする。

施用量：20kg/10a

施用時期：中干し期～出穂40日前までに



* H27年産 試験事例(湖北町)

出穂40日前頃は、地表面に沿って、うわ根が張っています。けい酸加里はこのうわ根に吸収されます！



大麦収穫後圃場で土壌分析してみてもいいですか？

対象者

すべての農家

分析点数

1件あたり5点までとします。(5圃場)

土壌分析基本項目

水田:pH、CEC、りん酸、石灰、苦土、加里、けい酸

その他:pH、EC、CEC、硝酸態窒素、りん酸、石灰、苦土、加里

5点まで無料!



土壌分析 随時募集中!!
各地域のTAC担当までお気軽にお申し付けください!!

熱中症、予防



夏の農作業で心がけること

1. 日中の気温の高い時間帯を外して作業を行いましょう

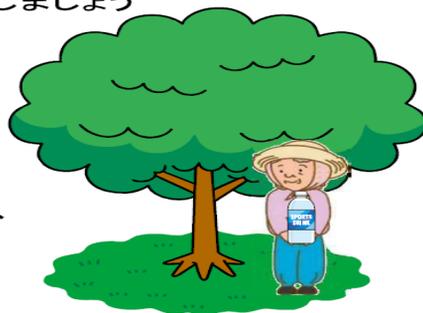
☀ 特に70歳以上の方は、のどの渇きや気温の上昇を感じづらくなるので、高温時の作業は極力避けましょう

2. 作業前・作業中の水分補給、こまめな休憩をとりましょう

☀ のどが乾いていなくても20分おきに休憩し、毎回コップ1~2杯以上を目安に水分補給しましょう

☀ 足がつったり、筋肉がピクピクする症状がみられたら、0.1~0.2%程度の食塩水(1Lの水に1~2gの食塩)、スポーツ飲料、塩分補給用タブレットを摂取しましょう
※市販品を摂取する際は、必ず成分表示をチェックし、適切な量を摂取してください。

☀ 休憩時は、日陰等の涼しい場所で休憩し、作業着を脱ぎ、手足を露出して体温を下げましょう



3. 熱中症予防グッズを活用しましょう

☀ 屋外では帽子、吸汗速乾性素材の衣服、屋内では送風機やスポットクーラーなどを活用しましょう

4. 単独作業を避けましょう

☀ 作業は2人以上で行うか、時間を決めて水分・塩分補給の声かけを行うなど、定期的に異常がないか確認し合うようにしましょう

5. 高温多湿の環境を避けましょう

☀ 暑さ指数(WBGT)計、温度計、湿度計で、作業環境を確認しましょう。

☀ 作業場所には、日よけを設ける等できるだけ日陰で作業をするようにしましょう

☀ 特にビニールハウス等の施設内は風通しが悪く、早い時期、早い時間から暑さ指数(WBGT)が高くなるため、風通しを良くしたり断熱材を活用しましょう